

小山田さん(天童三中年) 笑顔も満点



武田芳子師範(右)から1級満点合格を褒められ、
喜ぶ小山田優子さん 二天童市・天童商工会議所

珠算1級 受験者の0.32%

日本商工会議所主催の珠算能力検定試験で、天童三中2年小山田優子さん(14)が最高位の1級に満点で合格した。1級の合格率は29.5%だが、満点となるとわずかに0.32%で県内では唯一。「ちよつと自信がなかったけど」と振り返りつつ、3回目の挑戦で得た勲章に笑顔が広がった。

試験は10月に天童商工会 掛け算、割り算の計50問を議所など全国で実施され 30分で解く。11月16日に結た。10億の位の見取り算、果が発表され、1級の受験

三度目の正直 「集中力 続けられた」

者は8777人で、合格者は2591人。満点者は28人のみだった。

小学4年の春、天童市内の平藤そろばん・あんさん教室に通い始めた。天童珠算連盟による出前授業で「そろばんをパチパチとはじく感触が好きになったから」という。小学6年で1級に初合格したが、「周りのみんなが取っているから」と満点を目指すようになり、「集中力を続けられた」という今回、念願がかなった。

同教室からの満点合格は9年連続で14人目。武田芳子師範は秘訣(ひけつ)について「あやふやなところを見直すため、5分以上残して解答する瞬発力が必要。それには何より集中力です」と語る。

そろばんの魅力について「みんなより早く計算して、それが正しかったとき」と小山田さん。家族が喜んでくれたのが一番うれしかったといい、名前が刻印された記念の盾を「満点の誇り」として、家のどこかに飾るといふ。